

## 公募により4組の参加アーティストが決定！ 大正8年築旧平櫛田中邸での滞在制作・展覧会開催

# DenchuLab.

### 旧平櫛田中邸のアトリエを新たな創作・交流の場に

DenchuLab（デンチュウラボ）は、日本の近代彫刻を拓いた彫刻家・平櫛田中の旧居兼アトリエである旧平櫛田中邸（きゅうひらくしでんちゅうてい）を、アートを通じて地域・世界の人々と再生し、新たな創作と交流の場として育てていく活動の一環として、アーティストの制作・発表を応援する事業です。

公募により選出された4組のアーティストが旧平櫛田中邸にて約1ヶ月の滞在制作を経て、9月の一般公開期間に旧平櫛田中邸全体で構成する展示を行います。

### 展覧会概要

[展覧会名] DENCHULAB.

[会期] 2015年9月20日（日）～27日（日）

開場時間／11時～19時 ※9月20日（日）のみ11時～17時

[会場] 旧平櫛田中邸（東京都台東区上野桜木2-20-3）

[料金] 500円

[参加作家] アートとサイエンスのあいだ実行委員会、佐藤史浩+原口寛子、春木聡、古澤龍

[公募審査員] 白石正美（SCAI THE BATHHOUSE）、熊倉純子（東京芸術大学音楽環境創造科教授）、椎原晶子（でんちゅうず・たいとう歴史都市研究会）

[主催] NPO たいとう歴史都市研究会、一般社団法人谷中のおかって、でんちゅうず

[特別協賛] アサヒビール株式会社

[助成] アサヒグループ芸術文化財団

[協力] 井原市、平櫛弘子氏、東桜木町会、東京芸術大学大学院保存修復建造物研究室

アサヒ・アート・フェスティバル2015 参加企画

[お問い合わせ] 一般社団法人谷中のおかって

住所：〒110-0002 東京都台東区上野桜木2-23-8

TEL:03-6671-1525 / 080-4342-8215

Email:dencyu@taireki.com

## 旧平櫛田中邸について

旧平櫛田中邸は、近代日本彫刻を拓いた彫刻家、故平櫛田中氏（1872~1979）が、大正8年から昭和45年まで住み彫刻制作に励んだ家です。

岡山県井原市出身の田中氏は、明治30年、彫刻家を目指して上京し、岡倉天心の奨励を得て近代木彫の旗手となります。台東区上野桜木のアトリエ（大正8年築）と邸宅（大正11年築）は、大作「転生」の制作にあたり、日本美術院の同人であった横山大観、下村観山らの支援を得て建てられました。当時の最先端の近代的なアトリエと大正時代の伝統的技術による日本家屋がほぼそのままに残る貴重な家です。

平櫛田中氏とご家族は昭和45年までこの家に住み、小平市に転居される折、桜木の家とアトリエを出身の井原市に寄贈されました。その後、お弟子さんが管理のために住まわれた後、ここ数年は無住になって建物の傷みが進んでおりました。

そこで、平成14年から、井原市とご遺族平櫛弘子様のご了解のもと、東京芸大と地域生活文化を生かすNPOたいとう歴史都市研究会が協力して、建物の修繕維持管理と展覧会、見学会等による田中邸の顕彰などの活動を展開してきました。平成23年より文化芸術に関する企画の実施運営を通じて、人々の交流をうみだす一般社団法人谷中のおかっでも協働し、芸術文化の発信活動を行っています。



外観



アトリエ



居間

## アトリエを新たな創作・交流の場に

DenchuLab. では、旧平櫛田中邸を、アートを通じて地域・世界の人々と再生し、新たな創作と交流の場として育てていく活動の一環として、アーティストの制作・発表を応援する事業です。

今回白石正美（SCAI THE BATHHOUSE 代表）、熊倉純子（東京芸術大学教授）、椎原晶子（でんちゅうず・たいとう歴史都市研究会）の三人の審査員により選出されたアーティストは、活動歴・ジャンル共に様々な4組となっております。その4組のアーティストが旧平櫛田中邸にて約1ヶ月の滞在制作を経て、9月の一般公開期間に旧平櫛田中邸全体で構成する展示を行います。

かつて平櫛田中の創作の場として多くの芸術家が携わって来た平櫛田中邸が、新たな創作・交流の場へと再生します。



## 参加作家プロフィール

### アートとサイエンスのあいだ実行委員会

アートとサイエンスのあいだ実行委員会は、生物学者グリエルモ・マリオと、文化人類学者の服部志帆、美術作家の横谷奈歩が中心となり、2011年11月に結成された団体である。2012年ナポリ科学博物館での発表を開始し、2014年にはブルキナファソ等、その時々と場所で柔軟にメンバーが入れ替わり、かたちを変えながら、国内外で活動してきた。

プロジェクトメンバーの持つ想像力／創造力によって、あらゆる知識の交換がその現場で交わされ、着実な計画を元に、二度とできないメンバーとタイミングによって生み出される偶発性を大切にしている。

#### [参加メンバー]

横谷奈歩、グリエルモ・マリオ、服部志帆、上野ちか子、友政麻理子、長坂有希

#### [展覧会]

2012.12-2013.1 第一回目「アートとサイエンスのあいだ- Between art and science -」(ナポリ科学博物館)

2013.4 News 展 2013 (東京芸術大学絵画練 アートスペース 1、2)

2014.7-8 第二回目プロジェクト「Between art and science 2014」(IRFAK OASIS /ブルキナファソ)

2014.8-9 ナポリ科学博物館(ナポリ、イタリア)へ巡回

2014.10 アートとサイエンスのあいだ・アーティストトーク(AIR\_Onomichi\_4)



ナポリ科学博物館での展示(2012)



ブルキナファソ、クレニ村でのワークショップ風景

### 佐藤史浩+原口寛子

2011年に結成された2人組のアーティストユニット。コミュニケーションの齟齬をベースに、映像というメディアを用いてその解消、または顕在化させる作品を制作している。個々人の身体差や考え方の相違から生じる事柄について、同じ場所に居る2人という最小の構成単位をもとに、遊びながら試行／思考している。

これまで、場所に触発された遊びや好奇心による行為の共同作業、すでにある撮影技法や編集方法のチープな転用や応用などをもとに映像制作を行ってきた。特に個展では、文化財にも指定されている日本家屋や古い長屋をはじめとして、建物を全て使用した映像インスタレーションを制作・発表している。また、撮影場所がそのまま展示場所となるため、ほとんどが滞在制作を経て制作された作品が多い。

#### [展覧会]

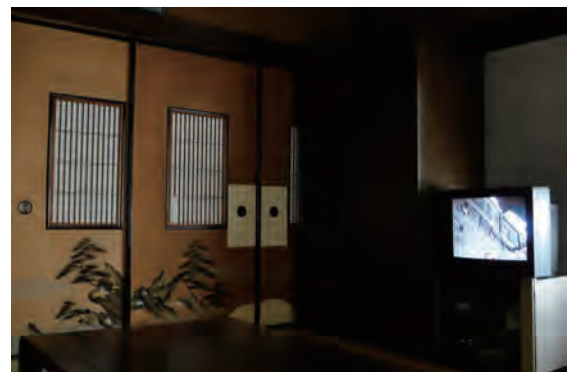
2011.8 はじめてごねる (T+ ギャラリー)

2011.10 とくべつなあくび (墨東まち見世 2011 /旧S家、他)

2011.10 BankART Life III “新・港村” (新港ピア)

2013.2 アフターエフェクト (水戸のキワマリ荘)

2013.8-9 いきき (徳島県佐那河内村)



とくべつなあくび(2011)



アフターエフェクト(2013)

## 春木 聡

2010 東京芸術大学絵画科油画専攻入学

2012 国立台北芸術大学留学

2015 東京芸術大学大学院美術研究科入学

今回の作品では、今日様々な分野で注目されている概念であるレジリエンス（回復力・復元力）をコンセプトとして、石を壊し、直すという作品「R.I.Y」で、修復部分が鑑賞の対象となり、レジリエンスという言葉の持つ、元の状態にこだわらない柔軟な復元性を表現する。

[展覧会]

2010 個展 (GalleryKB 神奈川)

2011 下町のエスプリ (墨田リバーサイドホール)

2012 Young art Taipei(B-Gallery /台湾)

2013 I WANT MORE(Bamboo Gallery /台湾)

PARK(原宝島曼波 /台湾)



R.I.Y installation 一石、補修剤—サイズ可変

okiba drawing—データサイズ可変

## 古澤 龍 (Ryu FURUSAWA)

1984 東京生まれ

東京芸術大学絵画科油画専攻卒業

同大学映像研究科メディア映像専攻修了

現在、東京芸術大学・非常勤講師

<http://ryufurusawa.com>

絵画・写真・映像と視覚メディアを横断的に制作している。イメージの定着をテーマに非物質的なデジタルイメージから、絵画などの物質に依存したイメージまで、光源→画面→視知覚→認知に至る視覚伝達プロセスそのものをハックする” InvisibleLayer” シリーズを中心に制作している。風景が立ち現れる境界では記憶と交じり合い体験はインタラクティブに変化する。このような流動的な世界感を音や映像、媒体を変えながら探求している。

[展覧会]

2015 網膜思考 Retinal Thinking (art space Kimura ASK? B1F)

2014 もうひとつの都市ソラリス (東京芸術大学 芸術情報センター)

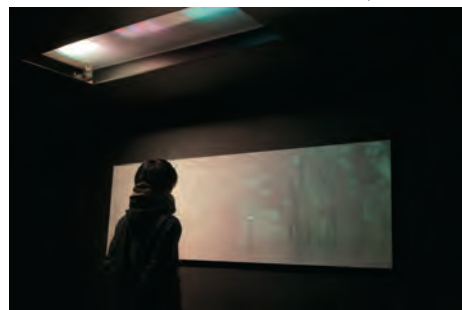
‘2013 AMC Moving Image Project vol.2 InvisibleLayer#2 (東京芸術大学 芸術情報センター)

2012 東京芸術大学大学院映像研究科 修了制作展 MEDIA PRACTICE 2011-12 (横浜)

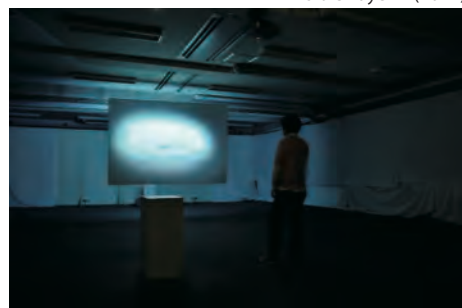
2007 サスティナブルアートプロジェクト「事の場」(旧平櫛田中邸)



Invisible Layer#3(2015)



Invisible Layer#1(2012)



Silent Scene(2010)

プレス画像の申請については下記へお問い合わせください。  
DenchuLab. 広報 TEL: 03-6671-1525 / E-mail: dencyu@taireki.com